

中期経営計画「中計2019」 (2019～2021年度) 船舶海洋カンパニー

2019年10月2日

川崎重工業株式会社

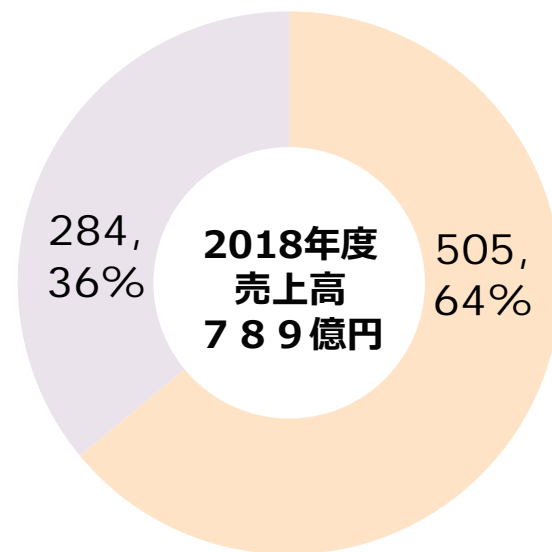
- | | |
|---------------------------|--------|
| 1. セグメント概要 | P3 |
| 2. 中計2019における事業戦略 | P4-7 |
| 3. 中計2019数量目標 | P8-9 |
| 4. 2030年度までの長期的方向性 | P10-11 |

船舶海洋カンパニーの概要

事業	製品・市場	主要製品	建造ヤード
船舶海洋	商船	<ul style="list-style-type: none"> ・LNG運搬船 ・LPG運搬船 ・ガス燃料供給船 ・運行支援システム (SOPass) 	坂出工場
		<ul style="list-style-type: none"> ・液化水素運搬船 	神戸工場
		<ul style="list-style-type: none"> ・コンテナ船 ・バルクキャリア ・大型タンカー ・自動車運搬船(PCC) 	中国 <ul style="list-style-type: none"> ・NACKS ・DACKS
	艦艇・特殊船	<ul style="list-style-type: none"> ・潜水艦 ・ジェットフォイル ・海洋調査船 ・巡視船 ・自立型無人潜水機 (AUV) 	神戸工場



■ 商船 ■ 艦艇・特殊船



船舶海洋カンパニーのグループ売上高
(NACKS/DACKS売上を加えた単純合計値)

約1,800億円

船舶海洋カンパニーの事業戦略

事業環境

- 世界的な建造能力の過剰
- 海運市況低迷の長期化
- 韓国、中国で造船会社の大型合併の動き
- アジアのLNG需要拡大に伴い、LNG船の需要拡大
- 環境規制の強化に伴う、低環境負荷船への需要の高まり

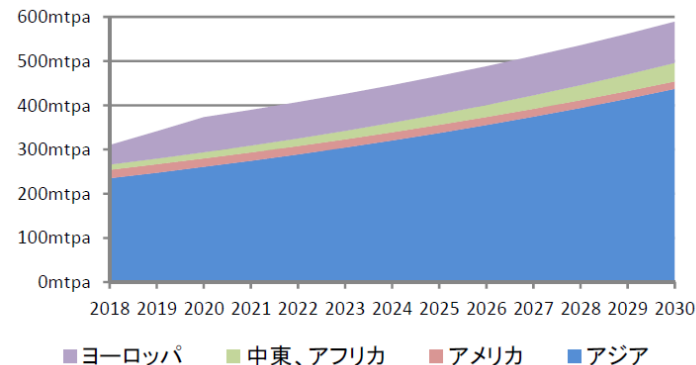
当社の強み

- 長年にわたり蓄積されたガス関連船（LNG/LPG運搬船）の建造技術
- 中国拠点（NACKS/DACKS）との一体運営によるコスト競争力
- 潜水艦の高度な技術
- 液化水素運搬船の先行技術開発

課題

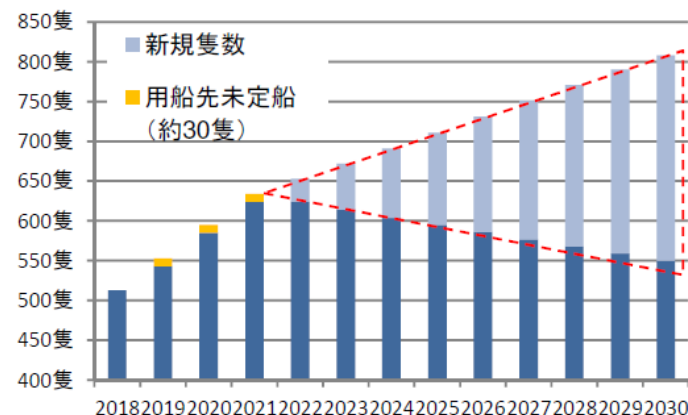
- **ガス関連船受注の確保**

LNGの各国需要予測



※出展：FGE社分析（2018年）

LNG運搬船の新造船需要予測



※自社調査による

船舶海洋カンパニーの事業戦略

事業構造改革の重点施策の着実な実行

重点施策	進捗状況
1 商船建造の軸足を中国へ	商船の国内操業規模を約2割削減(2015年度→2018年度) DACKS第二ドック稼働(2019年3月) LNG運搬船建造技術供与の具体的検討に着手
2 生産性向上・資材費低減活動	KPS活動、コストエンジニアリング活動を推進。 目標達成に向けたステージゲートを順調にクリア
3 固定費削減活動	①人員規模 10%減(2016年10月→2019年4月) ②部門固定費 12%減(2016年度→2018年度) ③投下資本 24%減(2016年度末→2018年度末)
4 新たな収益基盤づくり	①液化水素運搬船の開発を推進。 液水パイロット船起工(2019年6月) ②海洋事業の人員を新事業等へシフト完了

施策

事業ステージ：事業改革

中計期間中の役割：収益力向上

- ①中国(NACKS/DACKS)との一体運営深化・ガス関連船の技術供与
 - ・LNG運搬船建造技術をDACKSに供与。分担建造により競争力強化
 - ・LPG運搬船建造技術をNACKSに供与。中国案件等を取り込む
 - ・坂出工場はマザーヤードとしての機能面を強化
- ②液化水素運搬船の開発
2020年度にパイロット船を完工。大型化に向けた開発を推進
- ③SOPass (船舶運航管理支援システム)・FGSS (ガス燃料供給システム)の拡販
LNG船建造で培った工学的知見を活用することにより差別化
- ④浮体式LNG発電プラントの開発・受注

商船



NACKS工場(中国・南通)



DACKS工場(中国・大連)



液化水素運搬船



SOPass

施策

事業ステージ：安定・回収

中計期間中の役割：安定収益確保

①潜水艦

- ・次期新型潜水艦の受注に向けた研究開発体制の強化
- ・潜水艦増艦によるライフサイクルビジネスでの収益拡大

②ジェットフォイル

2020年度に25年ぶりの新造船を確実に建造。後続の代替需要に対応

③AUVの事業化

KSUK(イギリス現地法人)を中核にビジネスモデル確立。2021年度に市場投入

艦艇
・
特殊船



潜水艦

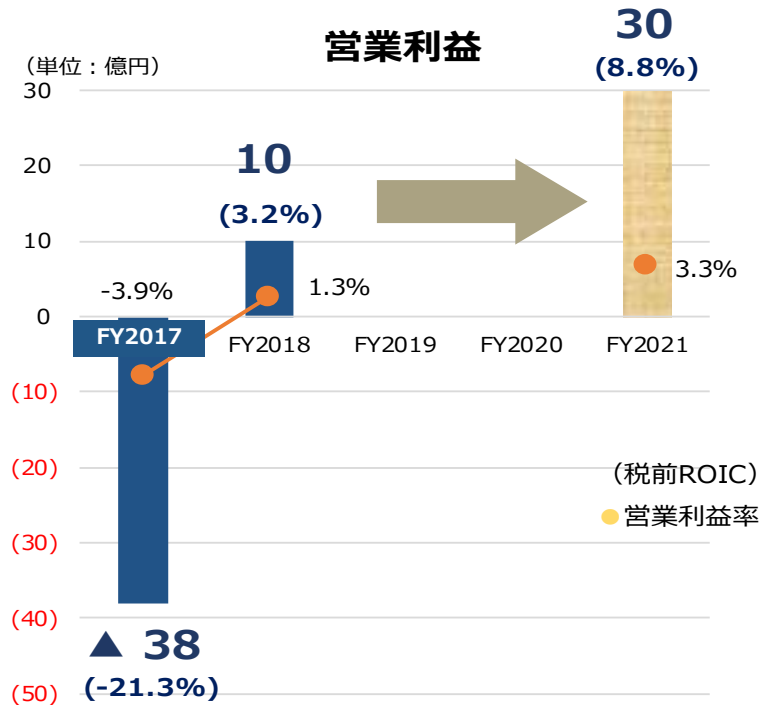
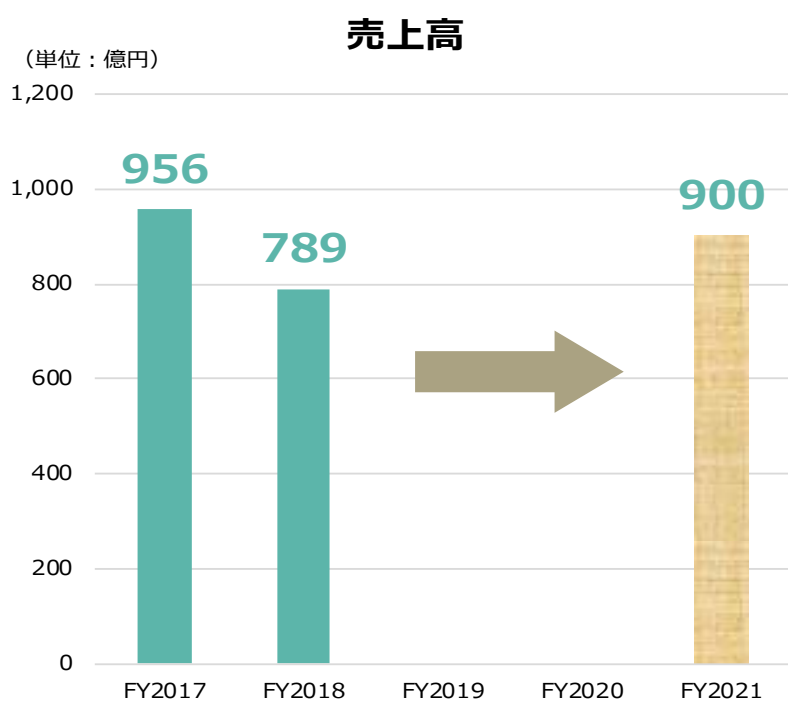


ジェットフォイル



AUV (Autonomous Underwater Vehicle)

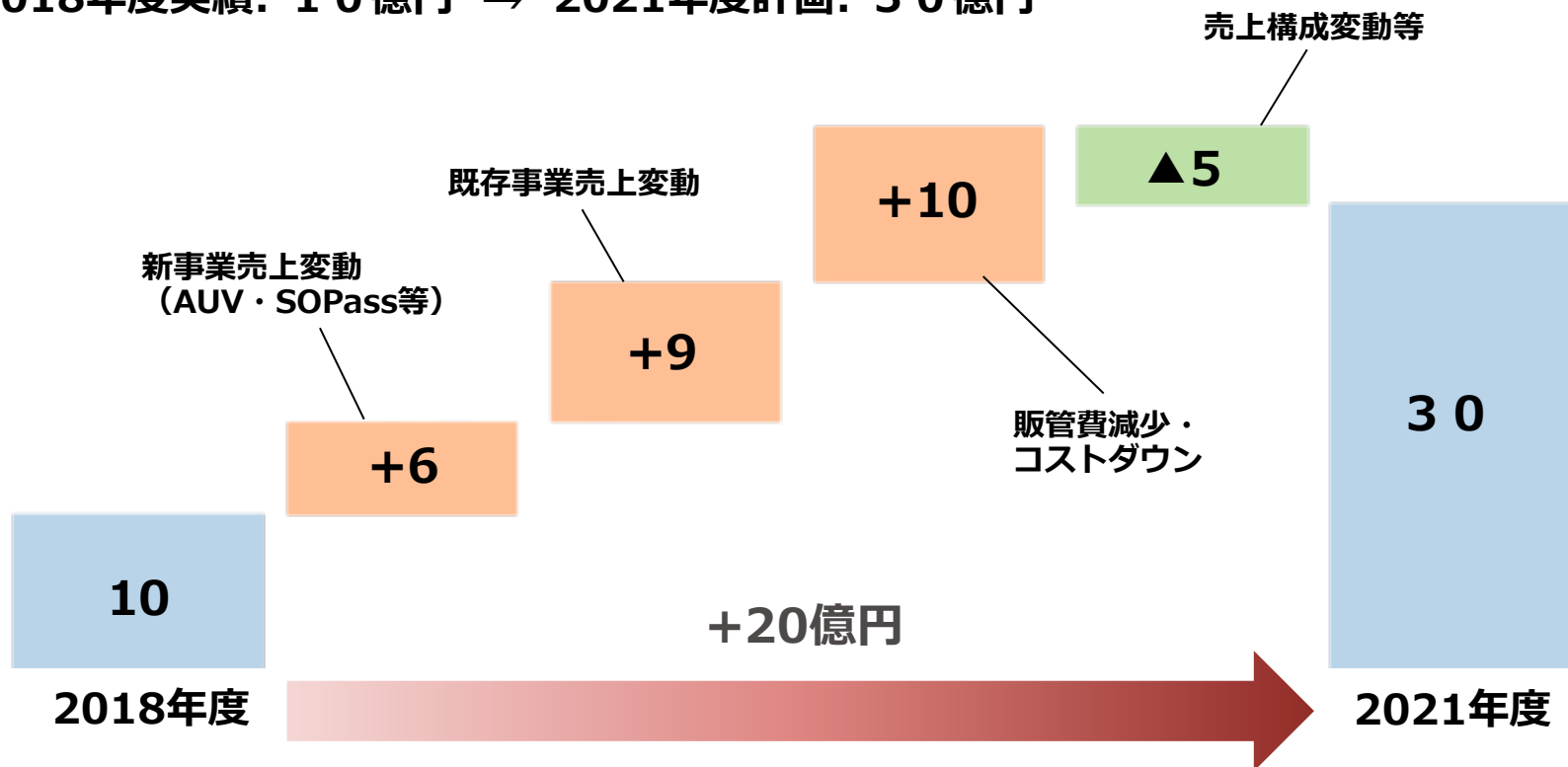
中計2019数量目標



- 新事業（AUV事業、SOPass）や中国（NACKS/DACKS）との一体運営によるコアコンポーネントの供給等により売上高・営業利益が増加
- 新造船（ガス関連船、潜水艦等）の売上高は横這い
- 固定費削減、KPS活動・コストエンジニアリング活動を継続

営業利益改善の施策

- 2018年度実績: 10億円 ⇒ 2021年度計画: 30億円



- 新事業 (AUV事業、SOPass) や中国 (NACKS/DACKS) との一体運営によるコアコンポーネントの供給増等により営業利益増
- 固定費削減、KPS活動・コストエンジニアリング活動を継続

2030年度までの長期的方向性

カンパニービジョン

水素技術、低温・高圧ガス技術、潜水艦技術と海外事業を核に最先端分野で独自性を追求する造船エンジニアリンググループ

カンパニー全体方針（中長期）

1. 液化水素運搬船建造パイオニアの地位確立
2025年度に大型実証船を、2030年度に世界初の商用船を建造。
ロイヤルティービジネスの基盤構築
2. 中国への技術供与によるガス関連船のグループシェア獲得
DACKSはタンクを自社製作する自立したLNG運搬船建造ヤードに
3. 艦艇事業の安定運営
次期新型潜水艦の受注獲得。
操業の谷は小型特殊船(ジェットフォイル等)で補完
4. 新製品開発・事業化による収益力強化
5. 坂出工場の全社的活用推進



液化水素運搬船

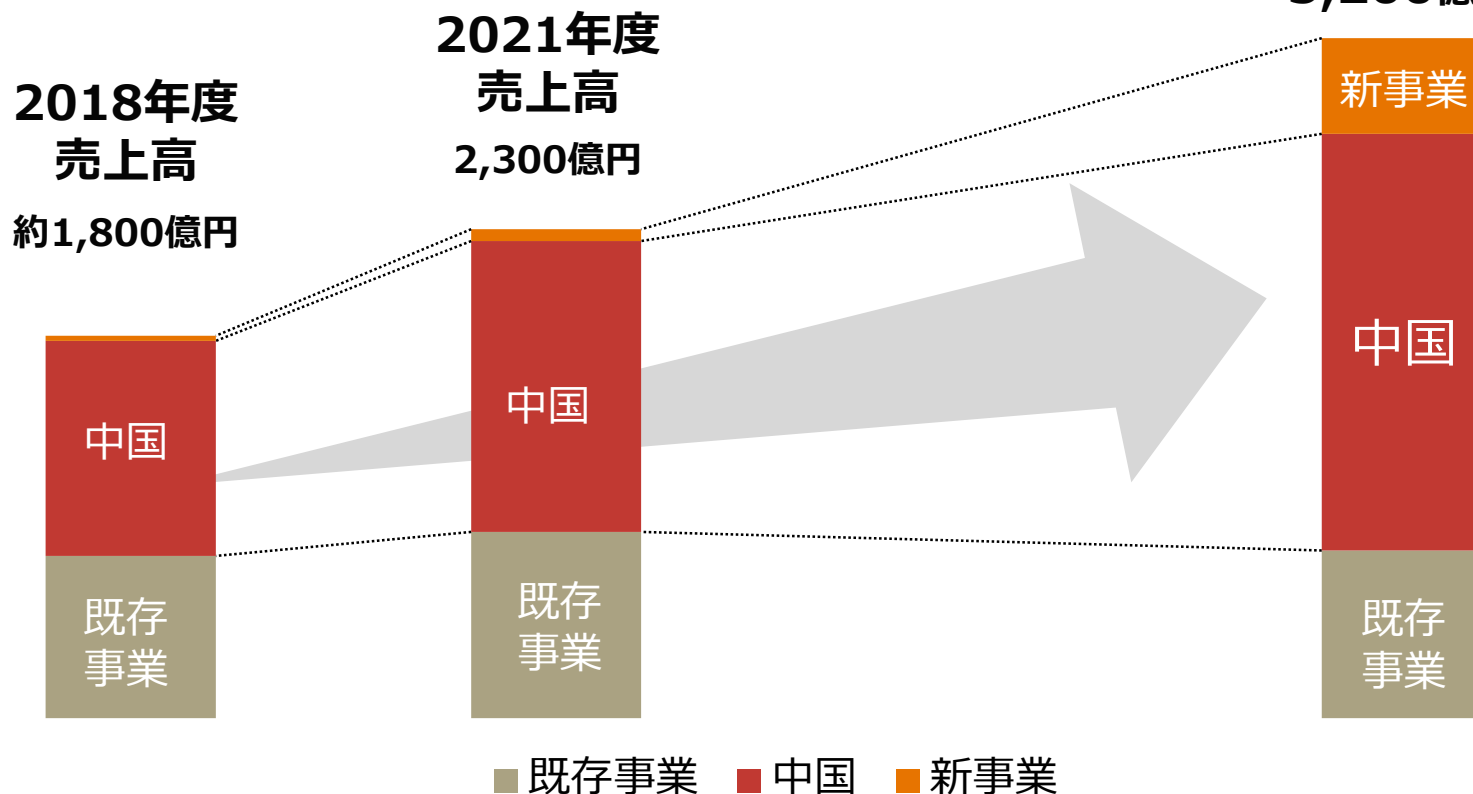
2030年度までの長期的方向性

船舶海洋カンパニー グループ売上高推移 (NACKS/DACKS売上を含めた単純合計値)

中国(NACKS/DACKS)の売上が拡大

2030年度
売上高

3,200億円



世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する

“Global Kawasaki”